園だより　10月

令和4年度（2022年度）　2022/9/27

社会福祉法人徹信会 後藤保育所　21－7292

各クラスそれぞれに、子どもたちの好きな遊びや関心ある事をテーマに繰り広げられている運動会への取り組み。あおむし君帽子をかぶって嬉しそうなこぐま組さんやいろんな虫に変身して楽しんでいる星組さん。わんぱくだんごっこを楽しむ花組さん。毎日の遊びが運動会へつながっていくひよこ組さんやこりす組さん。そして月組さんはこれまでの月組さんの姿を思い出し、憧れの気持ちを持って、組体操やリレー、跳び箱などにチャレンジしています。今ようやく、いろんな過程をくぐりながら少しずつ運動会へ向けて気持ちが高まってきているようです。

しかし…実は…月組さん、つい最近まで、クラス皆で取り組むことの難しさに直面する日々が続いていました。参加せずに走り回る子もいます。「参加しない理由って何だろう？」その子の内面に思いを馳せながら、「楽しい活動って何だろう？」「この取り組みでいったい何を育てて行きたい？」とあれこれ考え話し合ってきました。特に笛の指示で機敏に動き、身体的な機能も必要な組体操。苦手な子にとっては「楽しさ」よりも苦痛‥

そもそも「組体操」でどんな力をつけたいのか？そんな時に浮かんだのは、昨年の月組さんが自分たちで考えた組体操を自由遊びの中で誘い合って楽しんでいる姿でした。子どもたちは友だちを誘いあい、友だちと一緒に体を使って何かを表現することを楽しんでいたのです。成功すれば一緒に喜び合う。また楽しいからこそ次々といろんな技を考えだす。決まった動きを単に合図で表現し、指示に従って動く「訓練」になってしまっては楽しさからは遠ざかってしまいます。

そこで今回の組体操は「走りたい」の要求も大事にしながら、動から静へ向かう面白さや、二人組のペアやグループの仲間の関係を通して引き出される育ちに着目して取り組むこととしました。真っすぐ並んだピリッとした組体操ではない、伸びやかな自由さも持ち合わせた組体操。友だちと一緒に調整する難しさや楽しさを実感しながら素敵に進化中です。中身を問うことの大切さに気づかせてくれたのはエネルギー溢れる子どもたち。子どもたちが見せてくれる姿には、真実を問いかけてくれる魔法があるようです。

さて先日の研修で「保育・子育てのノロイをほぐしましょう」の著者、赤木和重さんは、「できないことをできたほうがよい」と思いすぎることや「～すべき」があふれてしまうと、頑張りすぎて視野が狭くなってしまうこと、結果としてしんどい子育てや保育につながり安心や楽しさを奪ってしまうのではないかとの問いかけがありました。まさに見える結果（できる・できない）にとらわれた時にかける言葉と、子どもの内面の葛藤や心持ちに目を向けた時にかける言葉は変わってくるなぁと思ったことでした。「ふれあい運動会」では子ども達の「今」の姿を愛おしく感じながら、次につながっていく可能性を信じる眼差しを送りたいと思います。
行事は大事な通過点！笑顔がつながり、元気が広がっていきますように！！

～お知らせ～

9月の保護者会の役員幹事会にて、ふれあい運動会の職員のマスク着用について、「保育所以外の会場であり、広い場所であることから、子どもに指示が通りやすく、顔の表情が分かりやすいようにマスクを取ることやフェースシールド等での対応はできないか」とのご意見がありました。

コロナ禍となった当初から表情の見えないマスクの及ぼす影響についていろと考えることも多くありましたが、3年目となった今、次第にマスク姿が当たり前となっていることにハッとさせられました。貴重なご意見を出してくださった方には感謝申し上げます。職員会議にて話し合ったこと、その結果は以下のとおりです。

話し合いの中では、ふれあい運動会に、フェースシールドを付けることで、いつもとは違う保育者の姿に反応してしまう子もいるのではないか、また感染拡大防止の観点からの不安の声もありました。また保育者の表情を見ることで安心につながること、顔の表情が見えることの大切さについては皆が一致した意見でしたが、使用については様々な意見が出されました。

厚労省からの通知にはフェイスシールドやマウスシールドを使用する場合には、マスクと比べて飛沫拡散防止効果が低いことに留意し、子どもとの距離や声量に配慮することなどが必要との記載があります。

日常の保育の中では、特性上抱っこしたり、傍に近寄って語り合ったり、子どもとの距離はとても近しく、常時の着用は難しいかもしれませんが、感染状況が落ち着いた時期に、可能な場面では使用していくことも視野に入れて保育していくことも大事なことと話しました。

その上で、今回は子どもたちが見慣れていない保育者の姿で行うよりも、いつもの姿（マスク着用）で行うことと決定しました。

コロナによる心配や及ぼす影響は、本当に様々でいろんな悩みが生じます。コロナ禍の体験で、見えてきたほころびや、くっきりと見えてきた大切なこと。今まで以上に一つひとつの物事をいろんな視点で考えるようになりました。

大人として保育者として、子どもたちにより良い社会を手渡していく責任を痛感しながら、この3年間を乗り越え学んできたことを力にしていくぞ！！と思います。

今回のご意見からは、保育を考えるきっかけともなりました。安心して語り合える保護者会があること、保護者の方からのご意見は宝であることを実感します。これからも何かありましたら、いつでもお知らせください。有難うございました。

～　お願い　～

- 毎日体を動かし、運動遊びに取り組んでいます。**歩きやすい靴、活動しやすい服装・髪型で登園ください。**
- 幼児クラスは運動会終了まで裸足保育が続きます。プールバックは引き続き持参ください。
- 運動会へ向けた活動が9時過ぎから始まりますので、**幼児クラスは9時までに登園**ください。
- 朝夕の気温差ある季節です。**着替え袋の点検と補充**をお願いします。着替えを持参された時には必ず職員にお伝えください。
- 爪が伸びているお子さんが多くおられます。怪我にもつながり、衛生面に於いても大切なケアです。**必ず確認し爪を切ってきましょう。**
- 持ち物への**記名をお願いします**。消えかかっていないかご確認ください。
- **登降園簿への記入**を忘れないようにお願いします。出席確認に大切な役割があります。9時30分を過ぎても出欠の確認がない場合は緊急連絡先にお電話いたします。
- **土曜日の保育**については、安全な保育体制を図る為、**前月の15日まで**にお知らせください。急な場合はわかり次第お知らせください。
- 引き続き感染症への対策にご協力お願いします。

～お知らせ～

１０月より新しく後藤保育所の職員として、大平優香を迎えます。
フリー保育士として勤務いたしますのでどうぞよろしくお願い致します。

～　11月の主な行事予定　～

２日（水）…お祭りごっこ
　　＊新型コロナ感染拡大防止につき、伊勢名神社の子ども祭りは中止となりましたので、保育所でお祭りごっこを楽しみます。
10日（木）…秋のお茶会（幼児クラス）
18日（金）…交通安全教室
21日（月）…リズムの会（幼児クラス…宮原小学校体育館にてリズム）

日	曜日	10月の行事予定
1	土	こぐま組保育サロン（9：30～10：30）
2	日	
3	月	集会
4	火	
5	水	体操教室
6	木	
7	金	ふれあい運動会準備日
8	土	ふれあい運動会
9	日	
10	月	スポーツの日
11	火	絵本会　交通当番(冨中様)
12	水	身体測定
13	木	
14	金	
15	土	ふれあい運動会予備日
16	日	
17	月	集会
18	火	
19	水	内科健診
20	木	歯科検診　お楽しみ会食
21	金	星組遠足・花組遠足　　交通当番（石田様）
22	土	
23	日	
24	月	集会
25	火	避難訓練・安全点検　防災ダック
26	水	体操教室
27	木	
28	金	月組遠足（詳細はクラス便りにて）
29	土	こりす組サロン（詳細はクラス便りにて）
30	日	
31	月	集会

♫リズムの日は各クラスよりお知らせします。

午後より準備を始めます。早めのお迎えが可能な方はご協力をお願いします。

内科検診…堀田医院より井川先生来所
歯科検診…櫻井歯科より櫻井先生来所

詳細はクラス便りにて

宮原の民生委員さんにご指導いただきます。

月組個人懇談

《　令和５年度　保育所入所に係る申請について　》

- １次募集…１０月２１日（金）～１１月４日（金）
- 新規申し込み‥オンライン申請
- 継続児申し込み‥保育所にて行います。後日面接希望日をお尋ねし、日程を調整いたします。

《宮原地区文化祭》　10月15日（土）
場所：宮原まちづくりセンター
１０時３０分より年長和太鼓が映像にて放映されます。